

畑からのメッセージ

新鮮野菜直運信 FROM おきたま

◆今日の野菜情報 (10月22日)

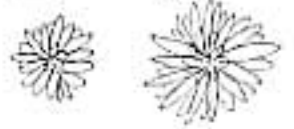
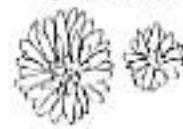
今週の別注品

おきたま農舎の白菜

こまめに虫を取り、
 酸引きもして育ちました。

¥180円

食用菊もっこのほか



ゆでる時に酢を少し
 入れると、色がまざやかに
 なります。

¥150円

病気に強い品種のキャベツです。
 味わいがまたぐさいます。

↓JAS有機許容農薬のみ使用しています。

品目	量目	農薬状況
高野尾典樹のじがいも	500g	無
鈴木吉宏の人参	1袋	無農薬 減农药
伊藤邦彦のキャベツ	1ヶ	低
渡部基司のカリフラワー	1ヶ	低
高橋みさ子の里いも	1袋	無
和田憲夫の鍋ちゃんねぎ	1束	無
鈴木吉宏のこぼろ	1袋	無
渡部しげの山形赤根わかんず	2束	無
渡部基司のりんご ジョナゴールド	3玉	低

◆今日の畑情報

皆さんいかがお過ごしですか？私の方は、連日しその実こぎや秋野菜の収穫をしています。
 このところは、子供が寝た後にチクチク針仕事をしています。というのも今週末に地区の文化祭がある。
 部落の若妻会に入っている私はそこに出展する作品を22日今日まで提出しなくてはならないのです。
 今年はみんなでミニYシャツ型ポケットティッシュケースを作っています。やりだしたらそれなりに楽しくて、たど
 たれない針仕事。10作るのに午前様な私です。
 さて、この若妻会、部落のお祭りでお店を出したり(王こんにゃくや焼き鳥)、公民館清々をしたり、
 今回のように地区の文化祭のお手伝いをしたり、そして時々飲み会をしたりする。同じ集落で暮らす若いお母さん
 達のグループです。恒平の同級生になるお母さん達が沢山いるので私にとっては子育てサクルのようでもあり、
 公園デビューとは無縁の世界。田舎の良さ文化がたぬかと思ひます。でもこのあたりでも生活時間がババァウ
 になつてきたり、若い人がいなくなつたりで若妻会自体がなくなつてきている現実も。露蔭に残つてたのは私にとりま
 ラッキーでした。畑情報からはあつたぶんかけはなれてしまいましたが、今日からラフランスの選果が始まります。

- ◆来週の子産 (10/29発) 人参 玉ねぎ、レタス、ブロッコリー、白菜、さつまいも、ほうれん草、菊
- ◆再来週の子産 (11/5発) 人参 玉ねぎ、キャベツ、里いも、春菊、鍋ちゃんねぎ、なめこ、りんご

昨年は産休していたので、
 ちょっと心配。
 それではまた来週。